

CSSによるデザインを試そう

歯止めがかけられたHTML

HTMLの独自拡張の時代は終わり、W3CはHTML3.2 HTML4.0をより厳格な規格としました。FONT、BASEFONT、HRなどのタグは不適切 (Deprecated) とされ、いづれ破棄されるものです。廃止要素は、将来のHTMLバージョンではなくなり (obsolete廃語) になります。

再利用のできない情報は無価値である (インターネットを情報ゴミ箱から救うために) コンピュータによる情報の配信は情報そのものが2次利用されてこそ、その特性を最大限に発揮します。このことを実現するにはXMLなどの本格的な導入が行われ、論理構造とレイアウトが完全にきりはなされたときに実現します。経験している方もいるでしょうが、WEBページに掲載されている情報を利用しようと思っても必要な部分を手作業でコピー&ペーストを繰り返すしかないのです。ページの情報を一括でデータベースに取り込めたら、アプリケーションで処理できたらと考えるでしょう。そのことを実現するためにも情報とレイアウトの切り離しが必要なのです。大きな企業サイトは近い将来XML化するでしょう。また中小のサイトは企業のXMLデータを整形し自己サイトで扱わなくてはなりません。そのためにも、今からHTMLとCSSの役割をより正しく理解し将来に備えなければならないのです。

CSSによるデザイン

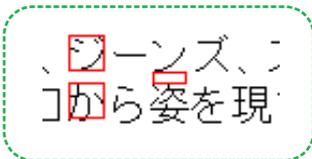
CSSはレイアウトを記述するものとして考案されました。

CSSを利用したデザインで重要なプロセスはHTMLによって論理付けられた文章をどのように見せたいかを意識して考え、割り付けることです。

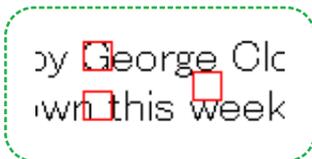
このことは簡単に見えて以外と難しいのです。

特にデザイン作業に慣れた人は 論理付けを行う前にデザインが目の前にちらつき論理付けに影響を与えるのです。

<P>タグによる標準的な和文の行送り



<P>タグによる標準的な欧文の行送り



URL

http://www.itami.info/chair/
css/cssdes.html

論理付けとレイアウト

HTMLにより
コンテンツを論理付けする



CSSによりタグに
レイアウトを割り付ける

CSS使い始め

HTMLによる行送りの違い

HTMLはアルファベットを利用する米国を中心に規格化が行われました。そのため日本語の表示には弊害があります。通常読みやすい日本語のヨコ組みにおける行送りは150%~200%(その文字の50%~100%の行間隔)であるといわれています。

左の例でも理解できるように行送りを指示できないHTMLは日本語の表記に対して可読性の低いものとなってしまいます。